

会長メッセージ

6月20日の全日本弓道連盟評議員会で理事に選出され、28日の理事会で、副会長に指名されました。公益法人としての、運営に真価が問われることとなります。これからも、県連行事に何かとご迷惑をおかけすると思いますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

8月17日・18日に橿原公苑弓道場で、国体近畿ブロック予選会が行われます。運営に応援に、ご協力をお願いいたします。

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

◆ 第19回布目弓道大会

布目弓道場 英明館にて 6月15日(土) 参加者 95名

技能優秀の部：	技能最優秀賞	林 秀子
	技能優秀賞	小西徳子
	技能優秀賞	山内雅美
一般の部：	優勝	林 秀子
	二位	新子修平
	三位	武宮 誠
弓道教室の部：	優勝	岸野 晴
	二位	岸野 奏
	三位	福留涼香

(文責 吉本)

◎布目弓道大会で得た新たな想い

久々に布目弓道場英明館に伺いました。開始式では主催者の吉本先生より「布目大会も回を重ね今回で19回目となり、今年は大勢の参加を頂き大変嬉しく思います。今回も射技の採点制を行います。昇段審査のつもりで自分の仕上がりを確認して頂ければ宜しいと思います。選手の皆さんも審査員の気持ちになって見取り稽古を行って下さい。」とご挨拶がありました。その後、吉本範士の矢渡しにより本日競技に挑む弓士の心構えを伝授して下さいました。さすがに気力気迫は充満し、一点の迷いもない演舞に感動させられ、一度で良いからあのよう自他共に満ち足りた演舞を実感したいと思いました。

午前の部は若い教室生の競技でした。彼等もいつの日か、あの範士のように立派に行射が出来るようになりたいと一途に練習を重ねてきたのでしょう。とても堂々として落ち着いた立ち振る舞いに感心しました。父親母親そして先生から「上手く出来たね、頑張ったね」と誉めて欲しいという一念で真剣に弓を引いているように見えました。私達も彼等と同様に進歩したなと(右上へ)

褒めて頂きたいと思っておりますので、その心は相通じるものがあります。『形を整えて無心に放てば無欲無邪な射が完成する』彼等の姿に高得点を付けてあげたい気分になりました。

いよいよ自分の出番になり、一立目は「会は持つものでなく、心を充実させるもの。無心になれば必ず中たる。」とハヤル心を抑えていました。しかし、的音を聞いた瞬間に甲矢の無心が消え失せて大人の邪心が現れました。教室生の一途な姿を見て学んだ事が、いざ自分になると経験が邪魔をし、自己を見詰める射ではなく的や他人の評価を気にする射となりました。二立目は余計な謀事が心に浮び、清楚な射とは縁遠いものになってしまいました。審査員の先生方にもそれが目に映ったと思います。

他の選手の見取り稽古をさせていただいているとき、遙々和歌山からおいでになった桑原先生が「誰が見ているよ、いつもと同じように落ち着いていなければならぬ。手の内はしっかり固めてまっすぐに押し切らなければならぬ。」と振るえる手で示された様子が心に残りました。年老いて弓から離れても、弓道に対する心意気は決して離れてはいない、選手として参加するのと同じ一途な思いで観覧されているのが分かりました。布目には世代を超えて弓道に対する一途な者が集い、正技を競い、本音で楽しむ大会が開かれていました。

懇親会を終え、お土産を携えて満たされた思いで山道を下る途中で、ふと「そこそこの評価を得たが、それでよかったのか」と、今日一日の自分を振り返りました。射法訓の前文に、『唯唯之を己に省み、心を正しうして一念生気を養い、正技を練り、至誠をつくして、修行に励むの一途あるのみ。』と教訓が掲げてあります。明日からこれを肝に銘じ、一途な想いで修練を始めようと思いました。

(樫原 充)

◆ 平成25年度 県教職員弓道大会

6月29日(土)、橿原公苑弓道場にて開催。幸い雨にも見舞われず参加者12名は一手5回に挑みました。

結果は男子の部では①奥田(吉野北小:9中)②井戸上(OB:7中)③前川(真菅北小:5中)、女子の部①明崎(OB:6中)②深田(OB:5中)③坂本(上四条小:3中)



競技会終了後本年度の総会を持ち、昨年度の行事、会計報告及び本年度の行事予定を確認しました。(土谷)

◆ 安土上げに参加して

橿原公苑弓道場の安土整備を6月22日(土)、23日(日)両日に亘りおこないました。梅雨のさ中の安土上げなので、雨を心配していましたが大きく降られずに済み、安土整備を終える事が出来ました。これらは全て多数の参加者の協力のおかげと思っています。22日は大阪教育大弓道部員を含めて約70名、23日も約60名の参加がありました。

今回の安土上げは安土敷のレベル調整、保水性の向上、維持管理の簡素化を目的にした整備をしました。1日目は全ての安土を搬出し、安土敷は土と石灰を混ぜて均し、一番奥に砂袋(砂約8トン)を階段上に積み、出した土を振いにかける作業まで終了する事ができました。2日目は挽粉と混ぜた土を安土に戻す作業から始まりました。挽粉(20袋)は県弓道教室の皆さんにお願いしました。安土の積み上げは時間がかかると思っていたが午前中に目途が付いたので気持ちに余裕をもって昼食を取ることが出来ました。

午後の上層部の積み上げは困難な作業にも関わらず、奮闘頂いたおかげで、なんとか安土が完成しました。その後すぐに国体選手による試射と、安土の維持管理の方法の説明をしました。

最後になりましたが高体連の生徒さん、中体連の先生方、連盟員、特に奈良市弓道協会の北村さんには色々アドバイスと「振い」等の道具の運搬に尽力頂きました。皆さんのご協力に感謝します。

(報告者 森昌彦)

追記 「塚(安土)の手入れについて」を添付します。

塚(安土)の手入れについて

- 散水は、使用前・後に必ず行うこと。
 - 1 安土の上の溝部分にたっぷり散水する。
 - ・ノズルはストレートの状態で行う。
 - 2 安土にはキリ状で散水する。
 - ・散水は水が流れない様に移動して行う。
 - ・ノズルはストレートの状態で安土に散水しない。
- 的付けについては、糸を張ること。
- 終了後は散水のうなバケツの土を練り、コテで穴や的枠の跡を埋める。
- ホウキは使用しない。

7月7日、県民体育大会の総合開会式において、長年に亘って県内の女子弓道の普及、指導に尽力され、現在も一般の弓道教室の指導から中・高生の指導など様々な指導活動をされております深田紀美子副会長が、その功績を認められ、「奈良県体育協会功労賞」の授与の栄に浴されました。

ご受賞おめでとうございます。



◆ 「橿原公苑弓道場床改修工事」着工

これまで、長年の課題であった橿原弓道場の老朽化問題について、県スポーツ振興課、橿原公苑と話し合っておりまして。しかし、耐震問題、財政等の事情に依り、改修の許可を得るのに難行していました。

今年度、国体近畿ブロック大会が、当番県となっております。そこで、早急に射場の床の張り替えが必要であり「経費を連盟負担であれば」と、やっと許可が出ました。

7月7日緊急臨時評議員会を招集、参加評議員全員一致の賛成で着工に至りました。奈弓連負担での改修工事の了承を得ましたが、工事費は会員の皆様の特別会計からの出費となります。奈弓連としては、唯一の県立道場が、この地でいつまでも使用できるよう会員皆様のご理解とご協力をお願いします。

6月22、23日には、弓道連盟の皆様、王寺工業高校の弓道部の協力で安土の整備がなされました。本当にご苦勞様でした。安土整備と射場の床改修、万全を期して国体近畿ブロック大会の開催を迎えられます。

尚、工事期間は7月29日から8月6日までです。急な決定でその間、道場使用を予定されていた団体の方々、迷惑をおかけいたします。連盟運営にご理解、ご協力の程、よろしく申し上げます。

(西中 正)

◆ならスポーツフェスティバル

第64回 奈良県 県民体育大会

当日は、天候にも恵まれ暑い一日ではありましたが、熱戦が繰り広げられました。

◎日 時：平成25年7月7日（日）

◎会 場：橿原公苑弓道場

◎参加人数：

- ・市郡対抗 【男子】 9チーム 【女子】 7チーム
- ・公開競技 【男子】 10人 【女子】 11人
- 【熟年】 6人

◎大会結果：

○市郡対抗（団体）

【男子】

優勝：生駒郡 33中	蔵地 隆文 平木 一史 乾 光孝
2位：生駒市 30中	鈴木 規央 佐竹 裕介 山口 亮二
3位：香芝市 29中	辻本 元威 上山 友暉 竹村 邦夫

【女子】

優勝：桜井市 25中	仲尾 瞳 吉岡 瑞紀 明崎 静代
2位：奈良市 21中	明瀬 綾子 西田 ゆり 平井 摂子
3位：橿原市 20中	小野 温美 豊嶋 倫子 東中 千佳

○個人戦

【男子】

優勝：山口 亮二（生駒市）	16中
2位：辻本 元威（香芝市）	14中
3位：乾 光孝（生駒郡）	12中

【女子】

優勝：白井 礼子（香芝市）	11中
2位：明崎 静代（桜井市）	10中
3位：平井 摂子（奈良市）	9中

（右上に続く）

○公開競技

【成年男子の部】

優勝：出口 善久（橿原支部）	9中
2位：武宮 誠（奈良支部）	8中
3位：平野 秀和（生駒支部）	6中

【成年女子の部】

優勝：林 美佳（橿原支部）	7中
2位：小西 徳子（橿原支部）	7中
3位：堀内 亜沙子（郡山支部）	4中

【熟年の部】

優勝：吉本 清信（布目支部）	10中
2位：井戸上博一（布目支部）	10中
3位：西川 義春（郡山支部）	6中

◆ 臨時理事会

平成25年6月22日（土）橿原公苑弓道場にて 22名の役員・理事出席のもと臨時理事会を開催。

■ 全弓連評議員会報告

- ・全弓連の役員改選があり、近畿からは兵庫県、和歌山県、奈良県の各会長が理事として選出された。
- ・26年に開催予定の第2回世界弓道大会（パリ）の日本代表選手の選考会を26年の3月に予定。近畿からは4名を出場予定。

■ 橿原公苑弓道場の射場床の改修について

- ・傷みが激しい公苑道場の床を、連盟負担により張り替える。工事費用については、特別会計から支出する。
- ・評議員会にて承認をうける予定

■ その他

- ・近畿行事や中央審査との運営の際に担当間の連絡のためにトランシーバーを購入したい。会長・理事長・事務局で相談し判断することの承認を受ける。
- ・スペイン弓道連盟との交流事業について。10月後半に参加者負担で訪問する。参加希望者は、新司・阪中へ

◆ 臨時評議員会

平成25年7月7日（日）県民体育大会終了後、役員・評議員39名出席。吉本会長から全弓連評議員会の概要説明。公苑道場射場床の改修について提案し、全会一致で承認される。H27のインターハイは吉野町で（新しい弓道場建設）開催される予定。

編集後記

橿原公苑弓道場の安土が整備され、射場床が張り替えられる様です。皆さんのお力により練習場所の条件が良くなっています。皆さんの更なる協力をお願いします。